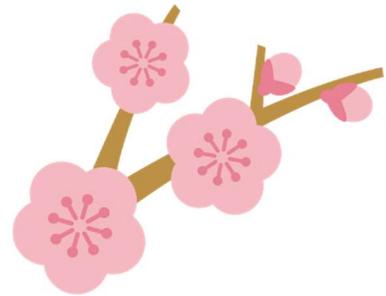


小学校でのワークショップの報告

新設小学校の基本計画策定の一環として、1月25日の午前小山小学校、午後におおたかの森小学校で、5年生を対象にワークショップを行ないました。
「木の学校づくり」についての目的や環境に対する木の役割について話を聞いた後に東京理科大学の垣野先生や設計担当の(株)日本設計と共に「学校での木の使い方」についてグループで話し合いました。

- 1、はじめに (流山市教育委員会)
- 2、「木の学校づくり」について
(設計担当：(株)日本設計 小泉氏)
無駄なく使える丸太の紹介等
- 3、グループ学習
課題：学校での木の使い方について
- 4、班毎に発表 (児童より)
- 5、まとめ (東京理科大学：垣野先生)



1、はじめに

教育委員会より、新設小学校の建設にあたり「学校での木の使い方」について、意見を出し発表してもらう旨の説明がありました。

2、「木の学校づくり」について

新設小学校の設計を担当する、(株)日本設計 小泉氏より、地球温暖化と植物の光合成の関係や森林の役割など、地球環境をテーマに木を使うことの意義について、説明がありました。
当日は、(株)日本設計より丸太や木材のサンプルを持参いただきました。様々なサンプルを前に、真剣な表情で説明に耳を傾ける子どもたちの様子がとても印象的で、小泉氏からの質問に対して、積極的に手を挙げて発表していました。



日本設計 小泉氏の説明の様子

3、グループ学習

それぞれの学校ごとで4班に分かれて、学校での木の使い方をテーマにグループ学習を行いました。テーブルに用意された、いろいろな木材を手にとって、香りや感触を確かめながら、学校生活のさまざまな場所で木の使い方を考えました。



小山小学校 グループ学習の様子



おおたかの森小学校 グループ学習の様子

4. 班毎に発表

クラスを4班に分け、グループで話し合いながらアイデアを出しました。重い木や軽い木、香りのする木などさまざまな特徴のある素材にふれながらいろいろな使い方を考えました。木のよわらかさに着目し、掲示板としての使い方や、コンクリートなどに比べて温かみがあるなど木の特徴を踏まえた意見が活発に発表されました。



小山小学校



おおたかの森小学校

班ごとの発表の様子



小山小学校



おおたかの森小学校

木材のサンプルや学校の居場所に意見を貼っていきました



小山小学校



おおたかの森小学校

子どもたちからワークショップの感想を集約し、「みんなの森」が完成しました

5. 今後の予定

市民参加型WSは2月に最終回を行い、基本計画を策定する予定です。

第4回ワークショップ： 2月15日 14:00～

内容については、「流山市新設小学校建設 学校づくり通信」でお知らせします。